



# University of Kelaniya - Sri Lanka

## External Examinations Branch

**Bachelor of Arts (General) Degree Third Examination (External) – 2009  
August / September 2010**

### Faculty of Humanities

**Japanese – JAPA– E3025**

**Reading, Comprehension, Writing and Translation**

**Answer all questions**

**No. of questions : 08**

**Time : Three hours**

1. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

電車に乗る場合に、乗客が長い列を作って待っている。やっと電車が着て、乗客が次々に乗り込む。そのとき、わきからその列に割り込んで、電車に乗ってしまう人がよくある。そういうときに、自分の前に、わきからひとりくらい割り込んできても、ちょっといやな顔をするくらいで、そのまま黙認してしまうことがある。

こういう場合は、「横から割り込んではいけません。」と（A）を申し込むべきである。それを、ずるずると黙許してしまうことは、一つの道徳的な罪悪であることを、よく承知すべきである。ひとりくらいのことには、むやみとやかましく言うことをなんとなくはしたないように考えるのは、たいへんな間違いなのである。

この場合、（A）をすることは、（B）というよりも、むしろ（C）である。正直に公衆道徳を守って、列の最後のほうについている未知のひとりの友人に対して、当然果たさなければならない（C）なのである。

列の中に割り込むというような、明白に悪いことに対してはもちろんのこと、それほどはっきりしていない場合にも、自分で正当と考えた（A）は、平気であればよいのである。もし、先方に（D）があり、または、何か事情があったら、返答があるはずである。その返答が、なるほどと（E）できたら、（A）を引っ込めたらよい。これは、きわめて当然な話である。

1) A～E に入ることばを、次のア～カから選んで、記号を書きなさい。

ア. 抗議    イ. 権利    ウ. 義務    エ. 理屈    オ. 納得    カ. 真実

A (     )    B (     )    C (     )    D (     )    E (     )

## II. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

消化器系の伝染病も呼吸器系の伝染病も、ばい菌によって次から次へと伝染していくものですから、病気を防ぐためには、ばい菌を寄せ付けないことと、ばい菌を殺すことが第一条件になります。

外出先から帰ったときや、食事の前には、うがいをし、手を洗うことも、ばい菌を寄せ付けないようにするよい方法です。( ① )、病人にはなるべく近づかないようにすることと、病人が使用した夜具や食器や身の回り品はよく消毒することなども大切です。

しかし、ばい菌は小さくて、肉眼では見えないし、方々に広がっていますから、完全にそれを避けることはなかなかむずかしいことです。

( ② )、たとえばい菌に触れても、それに負けない健康な体を作ることが大切です。( ③ )、常に衛生に注意しじゅうぶんに栄養をとって体をじょうぶにし、また伝染病の流行する季節には、予防注射をして、ばい菌に打ち勝つ力を体内にたくわえておかなければなりません。

結核も最近では、ビーシージー (BCG) で発病を防ぐことができ、レントゲン検査で発病したものを早く発見することができ、化学療法でなおすことができるようになりました。しかし、( ④ )、この病気で毎年二万人もの人が死んでいます。その原因を調べてみますと、発見が遅れたり、発見しても完全な治療をしなかったことによる場合が大部分を占めていることがわかりました。

( ⑤ )、結核にかからないようにするためには、睡眠と休養をじゅうぶんととり、無理や不摂生なことは避け、同時に毎年必ず定期的に健康診断を受け、常に健康を保つことが大切です。

1) ①～⑤に入ることばを、次のア～カから選んで、記号を書きなさい。

ア. そこで                      イ. それでもなお                      ウ. それには

エ. それから                      オ. だから                      カ. 結局

① (      )    ② (      )    ③ (      )    ④ (      )    ⑤ (      )

## III. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

湖が入り日に赤く染まるのをながめながら夕飯を食べる間も、過ぎ行く時の経過をおしとどめたい思いがする。はしを止めて、窓の外へ視線を投げる時間が、つい長くなる。惜しむ間もなく、日はあわただしく落ちて、夕やみがせまってくる。

ふろから上がってきたら、辺りは、もうすっかり暮れていた。山も原始林も、

黒く寝静まっている。

しばらくすると、月が昇ってきた。青くさえた月の光だ。霧は晴れている。山はシルエットになって目の前にやさしく座り、黙々と白銀に光る湖を見下ろしている。

昼間と同じ場所なのに、まるで感じは一変した。現実のものとは思えない、夢幻の世界の山と湖のようである。湖面は冷たい光を放ちながら、しかも引き込むような怪しい力を持っている。うっかり外へは出られない。ひとり湖畔にたたずんだりしたら、何の考えも、抵抗もなしに、身をおどらせてとびこみたくなるかもしれない。

湖の底に主がいて、人を引きずり込むなどという言い伝えがよくあちこちにあるが、そんな伝説を生み出した人々の気持ちが、わかったような気がする。

1) 文章の内容に合っているものに○、合っていないものに×を書きなさい。

- ( ) 日があわただしく落ちるので、夕食を食べる時間が足りない。
- ( ) 昼間も山と湖を見た。
- ( ) 湖の底に主がいるという言い伝えは本当だと思う。
- ( ) 湖面の持つ怪しい力は恐ろしいものだ。
- ( ) 山と湖の美しさに感動した。

#### IV. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「お」や「ご」を使ってよい場合としては、少なくとも次の四つをあげることができる。

その一は、①真に尊敬の気持ちを表す場合。

その二は、②相手の物事を表す場合。

その三は、③自分の物事であっても、相手の人と関係のある物事であるために、「お」や「ご」を使う慣用のあるもの。

その四として、④「お」や「ご」を取ってしまうと、おかしいことになるものをあげることができる。

1) ①～④の例はどれですか。次のア～エから選んで、記号を書きなさい。

ア. 「おぼうしはどれでしょうか」「ご意見をお聞かせ下さい」

イ. 「お手紙を差し上げます」「ご遠慮いたします」

ウ. 「おはよう」「ご苦労さま」

エ. 「先生のお望み」「先生のご講義」

- ① ( )      ② ( )      ③ ( )      ④ ( )



V. 次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。

カンダタは、早速そのくもの糸を両手でしっかりとつかみながら、一生懸命に上へ上へとたぐり登り始めました。

しかし、地獄と極楽との間は、何万里とございますから、いくら焦って見たところで、容易に上へは出られません。ややしばらく登るうちに、とうとうカンダタもくたびれて、登れなくなってしまいました。そこで、仕方がございませんから、まず一休み休むつもりで、糸の中途にぶら下がりながら、はるかに目の下を見下ろしました。

すると、一生懸命登ったA かいがあつて、さっきまで自分がいた血の池は、今では、もう、やみの底にいつの間にか隠れております。それから、あの、ぼんやり光っている恐ろしい針の山も、足の下になってしまいました。この分で登っていけば、地獄から抜け出すのも、存外わけがないかも知れません。カンダタは、両手をくもの糸にからみながら、① ここへ来てから何年にも出したことのない声で、B「しめた、しめた。」と笑いました。ところが、ふと気がつきますと、くもの糸の下の方には、数限りもない罪人たちが、自分の登った後をつけて、まるでありの行列のように、やはり上へ上へ、一心によじ登って来るではございませんか。自分一人でさえ切れそうな、この細いくもの糸が、どうしてあれだけの人数の重みに耐えることができますよう。もし万一、途中で切れたと致しましたら、せつかく② ここまで登って来たこの肝心な自分までも、元の地獄へ逆落としに落ちてしまわなければなりません。

そこでカンダタは、大きな声を出して、

「こら、罪人ども。このくもの糸はおれのものだぞ。おまえたちは、一体だれにきいて登って来た。降りろ、降りろ。」

とわめきました。

その途端でございます。今まで何ともなかったくもの糸が、急にカンダタのぶら下がっている所から、( ③ ) と音をたててC 切れました。ですから、カンダタもたまりません。あつという間もなく風を切って、こまのように( ④ ) 回りながら、( ⑤ ) うちにやみの底へ、真逆さまに落ちてしまいました。

1) A「かい」に一番近いことばを次のア～エから選んで、記号を書きなさい。

ア. 援助      イ. 効果      ウ. 努力      エ. 苦勞

2) ①と②の「ここ」とはどこですか。次のア～オから選んで、記号を書きなさい。

① (      )      ② (      )

ア. 地獄      イ. 極樂      ウ. 糸の中途      エ. 地の池      オ. 針の山

3) どうしてカンダタはB『しめた、しめた。』と笑いましたか。

4) どうしてくもの糸はC「切れました」か。

5) (③)～(⑤)に入ることばを次のア～オから選んで、記号を書きなさい。

ア. ぷつり    イ. ぶつぶつ    ウ. くよくよ    エ. くるくる    オ. みるみる

6) この文章の作者を次のア～オから選んで、記号を書きなさい。

ア. <sup>だざいおさむ</sup>太宰治    イ. <sup>あくたがわりゅうのすけ</sup>芥川龍之介    ウ. <sup>もりおうがい</sup>森鷗外    エ. <sup>なつめそうせき</sup>夏目漱石

VI. 次の文章を、シンハラ語か英語、どちらかに訳しなさい。

同窓会の席で、Tという級友が、先生に頭を下げて頼みごとをしていた。  
「先生、近く孫が生まれますので、また一本お願いします。」  
「そうか。今度は何にするかなあ。」  
「長男のときが松で、長女が桜、次女が梅でしたからねえ。」  
「いいのを考えておこう。」  
彼女は、息子が生まれ娘が生まれると、先生に植樹をしていただいていた。  
見上げるような大木になっていると聞いたとき、私は涙がこぼれそうになった。  
自分の持っていなかったものがはっきりと見えてきた。  
父の職業のせいで、生まれたときから社宅暮らしであった。しかも、三年たつと転勤をしなければならない。  
庭があり植木はあっても、それは会社の庭であり、自分のうちの木ではなかった。枝は傷めたり枯らさないように気はつかっても、すぐ別れると思うと育てる愛着はわかかなかった。  
育ってゆくものを朝晩眺める視線が私の暮らしにはなかった。私のなかに木は生えていなかったのである。

VII. 次の題から一つ選んで、作文を書きなさい。

- ① 私の尊敬する友人
- ② 効率よい日本語学習法
- ③ スリランカの観光業を発展させる方法

VIII. පහත ප්‍රශ්න වලට පිළිතුරු සපයන්න.

(1) පහත දැක්වෙන මාතෘකා අතරින් 4 ක් සඳහා කෙටි සටහන් ලියන්න.

- 1 දිය අගල අසබඩ නවාතැන
- 2 යුකුභිතො
- 3 අස-ගුමො
- 4 රළ පෙරළිය
- 5 මීග නමය
- 6 කොකොරො

(2) අකුතගව රියුනොසුකෙගේ කෙටිකථාවල දක්නට ලැබෙන

විශේෂ ලක්ෂණ පිළිබඳ උදාහරණ සහිතව විවරණයක් කරන්න.